

平成27年4月19日  
今週のベストショット



奈多グラウンド 新町パイレーツ 対 奈多クラブ  
強豪奈多クラブを見事完封！新町パイレーツ吉田崇浩投手  
写真：三苦フレンズ 肥喜里一征

青松園A 三球会逆転勝利！

三友クラブ（1敗）3 1 0 0 4 足達、久岡●ー竹岡

三苦三球会（2勝）1 1 1 3 6 吉留○ー藤澤

HR：堺太一（三球会） 2BH：藤澤（三球会） 柿崎（三友ク）

一回三友クラブは無死一三塁で三、四番が三振に倒れるも下位打線の粘りで3点を先制。二回も二打席連続二塁打で出塁した柿崎選手が竹岡選手のセンター前ヒットで帰り1点を追加した。対する三球会は一・二回に1点ずつ返すと三回堺太一選手のソロHRで1点差まで追い付き足達投手をノックアウト。しかし後を任された久岡投手にこの回後続は逆にノックアウトされる。時間的に最後の攻撃になる四回、三球会は一死満塁のチャンスで途中交代で出場している山崎選手がなんとかネクストバッターの堺太一選手に回そうとストライクの球に足を出して当てて死球を狙ったが、やはりそれはストライク。そしてサードゴロを打ってしまいダブルプレーだけは阻止するために痛めた足にムチ打って一塁へ全力疾走。その甲斐あって二死ながら堺太一選手に打席が回った。この1点差の緊縛した場面で堺太一選手は見事なレフト前に2点タイムリーヒットを打って逆転。さらに三友クラブのエラーでもう1点追加し三球会が逆転勝ちした。（記事：新町ウインズ 桐島司、写真：城戸和裕）



ホームベース付近に土を入れ試合開始！



三球会先発の吉留投手。



本日二塁打2本の柿崎選手。



押し出しで三友クラブ先制！



三友クラブ先発の足達投手。



交代後打ち合わせ？三友クラブ二番手の久岡投手。



同点ホームランと逆転打！三球会の堺太一選手。



追加点を狙う走者と慌ててバットを拾う前走者。



たまに小雨が降ったが、無事試合終了。

## 奈多グラウンド 新町パイレーツが見事今季初勝利を完封で勝ち取る！

新町パイレーツ（1勝0敗） 1 0 0 0 0 0 1 吉田○-桐島

奈多クラブ （1勝1敗） 0 0 0 0 0 0 0 今林（瑠）●-今林（卓）

3BH：白岩（新町パ） 盗塁：八坂（新町パ）

一回表パイレーツは、一番桐島選手が四球を選び出塁すると二番八坂選手が犠打を成功させ、一死二塁のチャンスに三番白岩選手がタイムリー三塁打で効率良く1点を先制。しかし、奈多クラブ先発今林（瑠）投手は冷静なピッチングで後続を三振とピッチャーゴロに抑え追加点を与えず、引き締まる試合展開に。奈多クラブは、二回裏に今林（卓）選手が初安打を放つが、後続が三振に倒れ無得点。四回裏には、先頭打者の今林（祐）選手が内野安打を放ち、この回にチャンスか？と思われたが、走塁でデットラインを割ってしまいアウトに！五回裏にも先頭打者今林（卓）選手が本日2本目となるヒットで出塁。一人奮起するものの次が続かず1点が非常に遠い奈多クラブ。結局、新町パイレーツ吉田投手がきっちり要所を締め、被安打4、3奪三振の完封で初勝利をものにした。対する今林（瑠）投手も1失点ながら10奪三振完投で好投を見せ、見ごたえのある投手戦を繰り広げてくれた。（記事・写真：三苦フレンズ 肥喜里一征）



4安打完封で勝利を勝ち取るパイレーツ吉田投手。



こちらも負けじと好投した奈多クラブ今林瑠生投手。



一回表、先制のタイムリー三塁打を放つ白岩選手。



二回裏、センター前ヒットを放つ今林卓也選手。



四回裏、内野安打を奪う今林祐将選手。



五回表、内野安打を奪う桐島選手。



この日2安打の奈多クラブ今林卓也選手。



投手戦の引き締まる試合を見せた両チーム。



完封勝利で喜ぶ新町パイレーツナイン。



完封勝利をものにした吉田、桐島バッテリー。

**青松園B** 奈多フェニックス 対 三苦ホーネッツ戦は、グラウンド不良のため中止。

**雁レクA** 乱打戦の結末は・・・サヨナラエラー！！

塩浜ジャガーズ (2敗) 7 0 2 0 0 9 立石●-橋村

雁ノ巣ライナーズ (1勝) 4 0 2 2 2 X 10 有馬○-長崎

HR: 国崎、久保田、明瀬 (航) (雁ノ巣) 3BH: 内田 (塩浜ジ)

初回ジャガーズの攻撃は、一番内田選手の三塁打を皮切りにライナーズの有馬投手を攻めたて7点リード。しかし、ライナーズも立石投手の立ち上がりを攻め、4点を返す。三回ジャガーズは一死から四球やヒットでチャンスを作り、今日絶好調の内田選手に打順がまわり期待に応えたライト前で1点、後続もヒットで1点と2点追加し9-4とする。このまま、ジャガーズのリードで終わるかと思っただが、さすが昨年3位のライナーズは強打線を発揮し三回久保田選手の2ラン、四回も明瀬航選手の2ランで9-8とジャガーズを攻める。最終回ライナーズは、先頭の宇野選手が四球を選び無死でランナーを出す。続く久保田選手がレフト前ヒットを打ち、無死二塁。WPなどで、一死二三塁になり、七番有馬投手が打った打球はレフトに飛んだ。万事休すと思いきやまさかのレフト田中選手のエラーでライナーズのサヨナラ勝ち！！ジャガーズにとっては、悔やまれる試合だったが、さすがは常勝ライナーズ。強さを見せつけた。（記事：ソルトベイスターズ 中村健一、写真：田中裕次郎）



両軍挨拶。



初回、ジャガーズ内田選手の三塁打。



ライナーズ明瀬航選手、喜びの2ランHR。



サヨナラ勝ちを皆で喜ぶライナーズナイン。

## 第2週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

4月19日は3試合が行われました。

青松園Aの三友クラブ対三苦三球会戦は、取っては取り返す点の奪い合いでしたが、コンスタントに毎回得点を重ねた三球会が逆転で開幕2連勝。2チーム合計で8本のヒットでしたが、四球、エラーなどで時間がかかったのか四回までしか進みませんでした。もう少しスピードアップ化しましょう。

奈多グラウンドの新町パイレーツ対奈多クラブ戦は、両投手の素晴らし投げ合いで、初回のチャンスを白岩選手のタイムリーでモノにしたパイレーツがスミ1で1-0の勝利。パイレーツ吉田投手は三塁を踏ませない完璧な投球でした。

雁レクAの塩浜ジャガーズ対雁ノ巣ライナース戦は、初回から乱打戦の様相。一瞬も目が離せない攻防は最終回予期せぬ結末。一死二三塁からレフトエラーでライナースがサヨナラ勝ちライナースは、この試合3本のHRも飛び出し、最高の滑り出しをみせた。一方ジャガーズはこの二試合惜しい試合が続いた。

さて、開幕間もないですが、WSLは三週間のお休みに入ります。まだ試合をしていないチームもありますが、5月17日から元気に頑張りましょう。